

2018年3月29日

中国のユニコーン企業の概要(1) ～急成長する中国のスタートアップ～

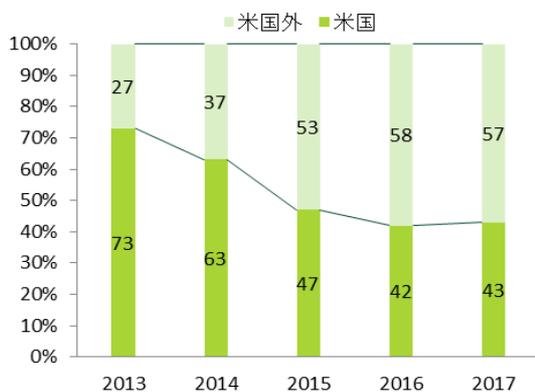
経済・産業高度化に向けイノベーション政策を推進する中国でユニコーン企業の増加が目立っています。本稿では、中国のユニコーン企業の存在感が高まっている状況を概観したうえで、中国のユニコーン企業を評価額別、設立年別、業種別にみてみます。

存在感高まる中国のユニコーン企業

「ユニコーン企業」という言葉は、2013年にエンジェル投資家のアイリーン・リー氏がテクノロジー・メディアで用いたのが嚆矢とされ、一般的に評価額が10億米ドル以上で未上場の企業を指します。ユニコーン企業という言葉が使われ始めた当初は米国企業が圧倒的多数を占めていたユニコーン企業の勢力図ですが、ここ数年、この勢力図に変調がみられます。米調査会社のCB Insights¹によると、世界のユニコーン企業のうち、米国外企業のシェアは2013年の27%から2016年には58%にまで拡大しました(図表1)。

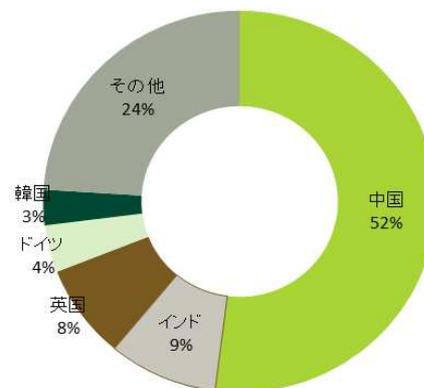
米国外企業のシェア拡大の牽引役は中国企業で、2017年9月時点で米国外企業のうち中国企業は52%と過半を占めています(図表2)。

図表1: 米国 VS 米国外企業の比率の推移



注: 2017年は9月時点
(出所)CB Insightsの情報を基に作成

図表2: 米国外企業の国・地域別内訳



注: 2017年9月時点
(出所)CB Insightsの情報を基に作成

ユニコーンへの成長ペース～中国 VS 米国～

ここ数年で中国のユニコーン企業の存在感が急速に高まったのは、政策支援などを追い風にしたスタートアップからユニコーンへの成長の速さと関係があるといえそうです。ボストン・コンサルティング、阿里研究院、百度発展研究中心、滴滴政策研究院が共同で2017年9月に発表した『中国のインターネットの特色分析』と題するレポートによる

¹ <https://www.cbinsights.com/research/startup-unicorns-international-map/>

と、スタートアップから2年以内にユニコーン企業に成長した企業の比率は米国が9%だったのに対し、中国は46% (図表3)。ユニコーン企業に成長するまでの平均期間は米国の7年に対し、中国は4年にとどまります。

中国のユニコーン企業

では、中国のユニコーン企業にはどのような企業が含まれているのでしょうか。これについては、2017年3月に中国科学技術部火炬科技産業開発中心と民間調査会社の長城戦略諮問が共同で発表した『2016 中国ユニコーン企業発展報告』(以下、『発展報告』)を基にみてみます。

ユニコーン企業の定義

『発展報告』では中国のユニコーン企業の定義として以下の4つを定めています。

- (1) 中国内で登録し、法人資格を具備する企業
- (2) 設立から10年未満(2006年以降に設立)
- (3) プライベートエクイティファンドからの投資を仰ぎ、未上場
- (4) (1)(2)(3)の条件を満たし、且つ企業評価額が10億米ドル以上

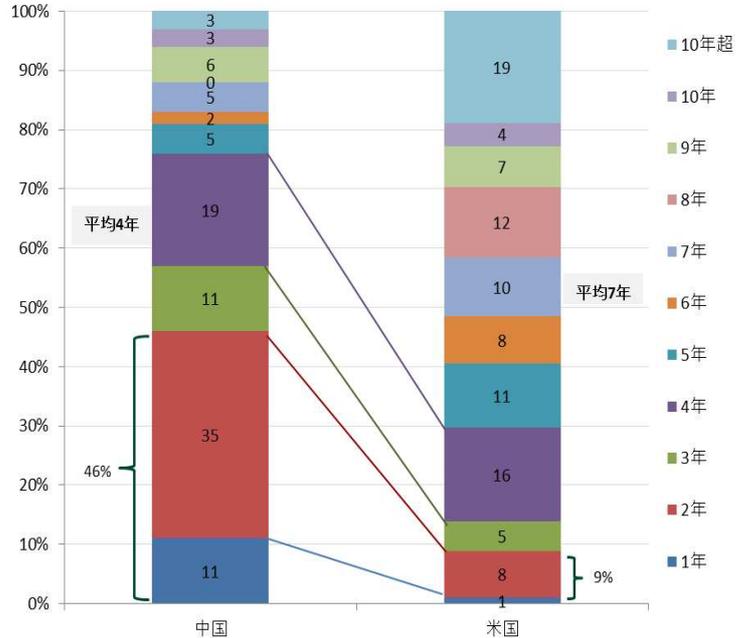
* (1)(2)(3)の条件を満たし、且つ企業評価額が100億米ドル以上の企業は「スーパーユニコーン企業」と称す。

『発展報告』では、この定義を満たした131社をリストアップしました。131社の評価額は合計で4,876億米ドル²。18業種に分類され、本社所在地は16都市に分かれています。

評価額別の分布

評価額別の分布(図表4、5)をみると、10億~19億米ドルが83社で、全体の63.3%を占めています。一方、評価額が100億米ドル以上の企業は7社で、全体の5.3%ですが、評価額では全体の49.3%を占めて

図表3:ユニコーン企業に成長するまでの期間



注:調査対象は1997年から2015年の間に設立され、評価額が10億米ドルに達した中国のユニコーン企業63社及び米国のユニコーン企業112社(出所)『中国のインターネットの特色分析』を基に作成

図表4:評価額上位10社

順位	企業名		評価額 億 USD	設立年	本社	業種
	中国語	英語				
1	螞蟻金服	Ant Financial	750	2014	杭州	フィンテック
2	小米	Xiaomi	460	2010	北京	ハードウェア
3	阿里雲	Aliyun	390	2009	杭州	クラウドサービス
4	滴滴快的*	Didi kuaidi	338	2009	北京	モビリティ
5	陸金所	Lufax	185	2011	上海	フィンテック
6	美团点评	Meituan	180	2010	北京	電子商取引
7	大疆創新	DJI	100	2006	深圳	ハードウェア
8	今日頭條	Toutiao	92	2012	北京	ニューメディア
9	口碑	Koubei	80	2015	杭州	電子商取引
10	菜鳥網路	Cainiao	76.9	2013	深圳	物流

*現在は滴滴出行(出所)『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

² 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』から抜粋した情報のため、現在の評価額とは異なる場合があります。

います。うち、評価額が最大なのは、蚂蚁金服 (Ant Financial) で 750 億米ドル、次いで小米 (Xiaomi) の 460 億米ドル、阿里雲 (Aliyun) の 390 億米ドルと続きます。平均評価額は 37 億 2,000 万米ドルで、平均評価額を下回る企業数は 113 社、全体の 86% を占めます。

設立年別の分布

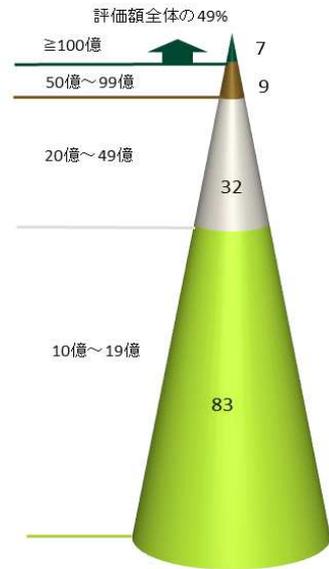
設立年別の分布 (図表 6) では、2010 年以降に設立した企業が 110 社と、全体の 84% を占めています。その中でも最多は 2014 年で 33 社に達します。2014 年に設立した企業の多くは「インターネット・プラス」に関連する企業で、平均評価額は 40 億 4,000 万米ドルと、全体平均を上回っています。

業種別の分布

業種は 18 に区分され、上位 4 業種 (電子商取引、フィンテック、文化・アミューズメント、モビリティ) だけで 77 社、56% を占めています。このうち、電子商取引が 31 社で、全体の 21.4%。次いで、フィンテック 17 社 (12.3%)、文化・アミューズメント 16 社 (12.2%)、モビリティ 13 社 (10%) と続きます (図表 7)。

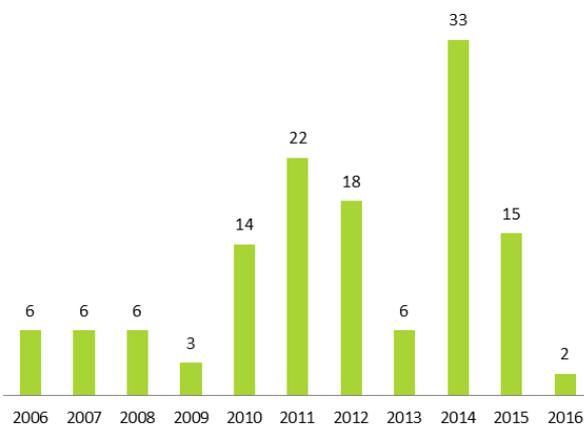
一方、評価額ベースで見ると、69% が 4 業種 (フィンテック、電子商取引、ハードウェア、モビリティ) に集中。うち、フィンテックが最大で全体の 28% を占め、次いで、電子商取引 14%、モビリティとハードウェアがともに 13% という順です。この中でハードウェアは、企業数では全体の 3% にとどまりますが、評価額では 13% を占めるに至っています。

図表 5: 評価額別の分布 (単位: 社)



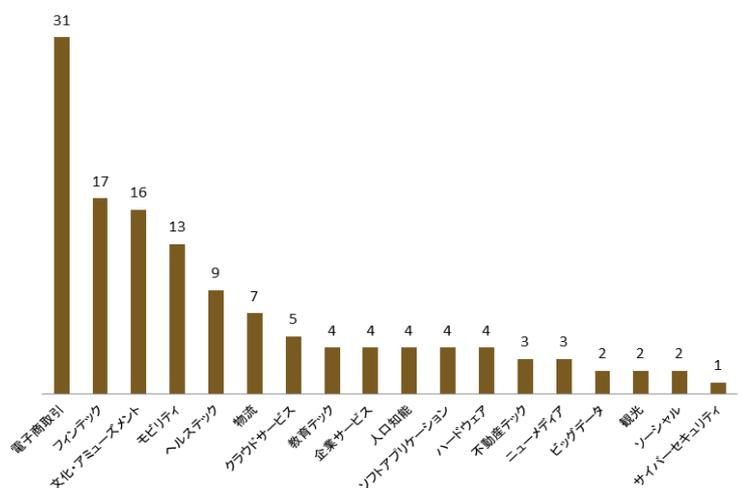
(出所) 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

図表 6: 設立年別分布 (単位: 社)



(出所) 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

図表 7: 業種別分布 (単位: 社)



(出所) 『2016 中国ユニコーン企業発展報告』を基に作成

地域別の分布

地域別分布をみると、北京市、上海市、杭州市、深圳市の4都市だけで115社(88%)を占めています。うち最多は北京市で65社、次いで上海市で26社、杭州市、深圳市がともに12社と続きます。4都市以外では、天津市が3社、広州市と武漢市が各2社、寧徳市、貴陽市、南京市、青島市、蘇州市、香港、長沙市、重慶市、珠海市がそれぞれ1社となっています。都市別の分布などについては次号以降の本レポートで纏める予定です。

(執筆:株式会社三井住友銀行 コーポレート・アドバイザー本部 香港グループ)

本誌内容に関するご照会は、お取引店までご照会ください。